

津田塾大学 数学・計算機科学研究所報

22

第11回

数学史シンポジウム

(2000)

2001

津田塾大学 数学・計算機科学研究所

まえがき

津田塾大学 数学・計算機科学研究所主催の「数学史シンポジウム」も回を重ね、第11回が2000年10月21日、22日の両日、津田塾大学5号館で開催された。この研究所報22号はその報告である。

講演をし、原稿を書いて下さった方々に厚く御礼申し上げます。

2001年6月4日

津田塾大学 数学・計算機科学研究所

杉浦 光夫

笠原 乾吉

長岡 一昭

目次

Jakob Bernoulli の確率とその後	飛田 武幸	1
定理から定義へ： $\varepsilon - \delta$ 論法による極限概念の基礎づけ	中根美知代	9
Fractional Calculus（定義と展開）－フラクタルとの接点－	佐藤 憲一	22
「ヤコビの逆問題」小史	高瀬 正仁	52
奇の完全数問題（O.P.N.問題について）	倉田令二郎	72
Historical aspects of Lévy's Brownian motion	Si Si	81
田中由真の数学	竹之内 脩	93
大坂英語学校の数学教育と Davies, Bourdon, Legendre	堀井 政信	109
John Dee の数学的思弁	坂口 勝彦	121